

ノウフク・アワード2023応募用紙(記入例)

1. 応募者の概要(必須)	
名称	(ふりがな)のうふくがぶしきがいしや 農福株式会社
所在地 (市町村名まで)	〇〇県△△市
取組主体	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 農林水産業経営体 <input type="checkbox"/> 農林水産業関係団体 <input type="checkbox"/> 一般社団法人 <input type="checkbox"/> 社会福祉法人 <input type="checkbox"/> NPO 法人 <input checked="" type="checkbox"/> 特例子会社 <input type="checkbox"/> 地方自治体 <input type="checkbox"/> 特別支援学校 <input type="checkbox"/> その他()
設立年月日	(西暦) 2017年4月 (設立7年目)
農福連携開始年月日	(西暦) 2017年4月 (開始7年目)
取り組んでいる事業	<input checked="" type="checkbox"/> 農業 <input type="checkbox"/> 林業 <input type="checkbox"/> 水産業 <input type="checkbox"/> 加工業 <input type="checkbox"/> 就労継続支援 A 型 <input type="checkbox"/> 就労継続支援 B 型 <input type="checkbox"/> 就労移行支援 <input type="checkbox"/> 生活介護 <input type="checkbox"/> 放課後等デイサービス <input type="checkbox"/> 高齢者介護 <input type="checkbox"/> 中間支援 <input type="checkbox"/> その他()
農福連携の体系図	株式会社農林→(意思決定機関の支配・役員派遣等)→特例子会社農林(直接雇用)
認定・取得済みの認証等	<input type="checkbox"/> 認定農業者(認定新規就農者を含む) <input type="checkbox"/> 6次産業化認定事業者 <input checked="" type="checkbox"/> ノウフク JAS <input type="checkbox"/> 有機 JAS <input type="checkbox"/> GGAP <input type="checkbox"/> JGAP <input type="checkbox"/> その他の GAP <input type="checkbox"/> その他()

2. 活動のきっかけ(必須) ※200 文字程度で記入してください。
<ul style="list-style-type: none"> ◆ 本社の法定雇用率を達成するため、特例子会社制度を活用して、障害者に適した仕事ができる事業を模索していたところ、セミナーで特例子会社が農業に参入している事例が紹介され興味を持った。 ◆ 障害者に農業は難しいと考えていたが、実際に農業に取り組んでいる特例子会社を視察する中で、障害者が生き生きと働いているのを見て、法定雇用率の達成だけでなく、企業として社会貢献にもつながると考え、本社に特例子会社制度を活用して農業を行うことを提案したところ、承認され事業を開始した。

3. 取組の具体的内容及び成果(効果)(必須)
<p>※審査基準である①人を耕す、②地域を耕す、③未来を耕すについて、活動内容、時期及びその成果(効果)をそれぞれ 400 字程度で記入してください。(審査基準 URL:)</p>
<p>① 人を耕す(工賃や賃金の向上に対する取組、障害者等が管理者や責任者などにステップアップしている事例、一般就労につながった事例、農作業中等の安全管理や健康管理の取組、多様な人々が働くことができる職場環境の創出に関する取組等について記載してください)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 11 名の障害者と支援員3名で農業に取り組んでおり、仕事ぶりが評価され、親会社に異動となった障害者がこれまで2名いる。 ◆ リーダー制を設けるなど、能力や作業の熟練度等に応じた人事評価を行い、昇給につなげており、責任感、やりがいを持って仕事をしてもらえるよう工夫している。 ◆ 施設はすべてバリアフリーとしているほか、夏場もハウス内での作業が中心となるため、熱中症対策としてミストを設置するなど、安全面や環境面で十分な配慮を行っている。 ◆ 生産した農産物を親会社内で販売することで、グループ会社内での障害者への理解が進んでいる。 ◆ 地域の高齢農家に農作業の手伝いも行っていることから、障害者に対する理解が深まり、障害者も地域で自信をもって生きていけるようになりつつある。
<p>② 地域を耕す(農福連携を通じた収益性・生産性の向上、地域の伝統野菜や伝統技術の継承、荒廃農地や遊休農地等の解消、地域の祭りやイベントへの参加、直売所やレストラン・カフェの開設、農作業体験や収穫体験などの開催、地域内の異業種との連携等について記載してください)</p>

- ◆ 特例子会社を設立するにあたり、地域の農家などとも何らかの連携ができればと考え、市からの紹介で荒廃農地を引き受けることとした。
- ◆ 農業ハウス5棟で、養液土耕栽培でトマトを栽培しており、農業開始時から近隣の農業をリタイアされた高齢の農家から定期的に技術指導を受けている。
- ◆ 弊社の取組が地域内で認められ、高齢の農家から農地を引き受けてほしいといった要望もあり、露地での野菜栽培にも取り組み始めた。
- ◆ 近隣の福祉事業所に農作業を委託し、収穫の忙しい時期には施設外就労で作業を手伝ってもらっているほか、弊社の障害者も地域の高齢農家の農作業の手伝いを行っている。
- ◆ 直売所や産直祭りにトマトを販売することで、消費者等から美味しいとの評価を受け、直売所に出せば、午前中には売り切れるなど、直売所の売りに貢献している。
- ◆ 小学校や特別支援学校と連携し、収穫体験を実施するなど、地域内交流を進めている。

③ 未来を耕す(先進性・独自性・話題性のある取組、これから農福連携に取り組む団体等の参考となる取組、地域外の異業種との連携、ノウハウ商品の付加価値向上に関する取組、障害者等の目線で農作業の内容を見直すことで作業の効率化につながった事例等について記載してください)

- ◆ 弊社の取組が、テレビや新聞で取り上げられたことから、県内はもちろんのこと県外から視察に訪れる企業が増えており、県や市町村主催の農福連携セミナーに講師として招かれる機会が増加している。
- ◆ 農業を始めたい企業からアドバイスを求められる機会が増え、業種を超えた新たな連携が生まれている。
- ◆ トマトのブランド化や付加価値を高めるために 2020 年にノウフク JAS を取得し、現在、JGAP の取得にも取り組んでいる。
- ◆ ノウフク JAS を取得したことから、都内で開催された商談会に参加したところ、スーパーと外食企業から弊社のトマトを使いたいとのオファーがあり、売上が増加している。

4. 活動実績(必須) ※「項目」は、農地面積、荒廃農地の解消、売上高、障害者等の工賃や賃金、農作業に関わる障害者数、交流人口等、取組実績がわかるものについて、項目ごとに取組当初時と直近5年間の推移を表形式で記入してください。								
項目	単位	取組当初	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年 (見込み)
障害者数	人	9	9	10	10	11	11	11
特記事項(任意): 開設当初は9名でスタートし、現在は11名								
農業ハウス	棟	4	4	4	4	4	5	5
特記事項(任意): 令和4年度からハウスを1棟増加								
月額平均賃金	円	90,000	95,000	95,000	100,000	100,000	110,000	110,000
特記事項(任意): 障害者の昇給に伴い平均賃金は順調に上昇								
売上金額	万円	500	1,000	1,100	1,500	1,600	1,800	2,000
特記事項(任意): 生産と品質が安定し、販路も安定していることから売上金額は増加								

※COVID-19を原因として減少または減少となる見込みである場合は、実績値に「※」を記入してください。また、COVID-19関連で実績に影響がある場合は、「3. 取組の具体的内容及び成果(効果)」に影響を踏まえた対応や工夫を記入してください。

5. 活動の主な変遷(必須) ※活動の主な変遷について記入してください。						
取組当初	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年 (見込み)
荒廃農地を借りて4棟の農業ハウスでトマト栽培を開始	生産と品質が安定し、売上金額は前年の2倍に増加	施設外就労で福祉サービス事業所に農作業を委託	ノウフク JAS を取得	近隣の小学校や特別支援学校から収穫体験を受入れ	商談会に参加し、新たな販路を開拓	加工食品の製造を行うため加工施設を整備予定

6. 今後の展開方向(必須) ※200字程度で箇条書きにて記入してください

- ◆ 販路の拡大が予想されるため、現在、市や農業委員会に相談して、農業ハウス設置用の農地の取得を計画しており、将来的には7棟でトマト栽培を行う予定。
- ◆ これに伴い、障害者雇用も現在の11名から15名に増加させる予定。
- ◆ 加工施設の整備を計画しており、今年度中には稼働させる予定で、規格外トマトなどを活用してトマトジュース、トマトジャムなどの加工品を製造する予定。
- ◆ 商談会で県外のスーパーや外食企業とつながったことから、県外の企業とも連携を深め、新たな販路を開拓していきたい。

7. 取組内容がわかる写真等(必須)

※写真、図表等を貼付し、20文字程度で説明を記入してください。取組内容を代表する写真を必ず3枚以上貼付してください。

※第三者の肖像権、著作権、プライバシー等を侵害することのないように十分注意してください。

※写真等を貼り付ける際は圧縮するなどして、Wordのファイルサイズが5MB以下となるようにしてください。

--	--

8. 表彰等の受賞歴(該当があれば記入)

表彰名等(受賞年度)	主催者

9. 活動に関する PR・エピソード(自由記入、写真、PR動画^④等添付可)(任意)

※600 字程度で記入してください。

- ① 記入欄には指定された文字数の範囲内で記入してください(文字の大きさも、当初の設定から変更しないでください)。
- ② ノウフク・アワードは、農福連携の普及啓発を目的に、表彰された取組内容はもちろんのこと、優良な取組事例を全国へ発信することとしており、応募用紙に記載・掲載いただいた内容及び写真については、農林水産省が行う広報活動及びノウフクポータルサイト(ノウフク WEB)への掲載並びに地方公共団体への情報提供等(農林水産省ホームページへの掲載、選定事例集への掲載、政府施策紹介資料への掲載など)に使用することがございますので、あらかじめご了承ください。(個人名については公表、使用はいたしません。)
- ③ 提出いただいた応募用紙等については返却いたしませんので、あらかじめご了承ください。
- ④ 「9. 取組に関する PR・エピソード」に PR 動画を添付する場合は、動画共有サイト(YouTube / Vimeo 等)やクラウドストレージサービス(OneDrive / iCloud / Dropbox / Google ドライブ)等にアップロードの上、URL を記入してください。